

血圧測定で、大切な社員の健康管理をサポート

健太郎




Japan Trucking Association **JTA** 広報 **とらつく**

since 1953

毎月1日・15日発行

**12月25日号**

発行所 公益社団法人 全日本トラック協会  
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5  
全日本トラック協会会館  
☎(03) 3354-1029 (総務部広報室)  
https://jta.or.jp

# 政・労・使ドライバーの幸せを願い「更新制」の導入で一致結束!!

## 第53回物流政策懇談会 次期通常国会での成案を目指す



政・労・使がトラック運送業界発展のため意見交換を行う物流政策懇談会(12月16日、全ト協)

政・労・使がトラック運送業界発展のため意見交換を行う物流政策懇談会(12月16日、全ト協)の様子が、12月16日、全ト協会館で開かれた。国土交通省物産部(以下、物産部)の成田幸隆中央執行委員長(以下、成田委員長)が、全日本トラック協会(以下、全ト協)の坂本克己会長(以下、坂本会長)と、労働関係団体(以下、労使)の代表者らと共に、来年春の法改正を見据え、私どもも行政も労働組合の皆さんも目指しているところ、同じスピード感でも大抵のことはない。坂本会長の決意に敬意を表することも、政労使で政策的対話を重ね、新しい提案に限らず協力して進めたい」と述べた。また、坂本会長は「行政側からの協力を惜しまない意向を聞き非常に心強い。この時勢を踏まえ、政労使一致結束し、来年こそ実りある結果を得たい」とあいさつ。運輸労連の

会議員頭(国土交通省物産部)の成田幸隆中央執行委員長(以下、成田委員長)が、全日本トラック協会(以下、全ト協)の坂本克己会長(以下、坂本会長)と、労働関係団体(以下、労使)の代表者らと共に、来年春の法改正を見据え、私どもも行政も労働組合の皆さんも目指しているところ、同じスピード感でも大抵のことはない。坂本会長の決意に敬意を表することも、政労使で政策的対話を重ね、新しい提案に限らず協力して進めたい」と述べた。また、坂本会長は「行政側からの協力を惜しまない意向を聞き非常に心強い。この時勢を踏まえ、政労使一致結束し、来年こそ実りある結果を得たい」とあいさつ。運輸労連の



鶴田 浩久  
国土省 物流・自動車局長



坂本 克己  
全ト協会長

国土交通省は12月16日、第53回「物流政策懇談会」を開催し、行政、労働関係団体、トラック運送事業者が一堂に会し、適正運賃収受やトラックドライバーの労働条件改善などに向けた取り組みなどについて意見交換を行った。特に、坂本克己会長が12月5日の第208回理事会で、「事業許可更新制」を柱とした、適正競争を推進するための貨物自動車運送事業法の改正と、それを担保するための特別措置法の成立を目指すことを表明したことについては、政・労・使が一致結束して法改正に向けて取り組み姿勢が確認された。

## 運輸関係3労組委員長がコメント発表

実運送事業者が正当な対価を受取り、トラックドライバーが果たしている役割に相応しい賃金水準への引き上げと労働条件を改善する上で、事業許可更新制の導入は有効である。我々もともに実現を目指したい。

全日本建設交通一般労働組合(建交労)



足立 浩  
中央執行委員長

事業許可の更新制導入により適正な競争環境を整え、企業が適正な収益を上げやすくなり、それによりドライバーの労働条件改善が図られる。早期の実現を目指し連携して進めていきたい。

全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)



織田 正弘  
中央執行委員長

事業許可の更新制については、安全対策の観点やドライバーの社会的地位向上のため運輸労連としても従来から主張してきたことであり、賛同するところである。議員立法による成立を目指し、スピード感をもって議論していきたい。

全日本運輸産業労働組合連合会(運輸労連)



成田 幸隆  
中央執行委員長

成田中央執行委員長も「事業許可の更新制は、我々も主張してきた事項であり、賛同する」と述べた。懇談会では、国土交通省物産部、自動車局の三輪田優子・自動車局の鶴田局長や三輪田優子、国土交通省・農林水産省・経済産業省・農林水産省による審議会の合同会議の取組みや、「トラックと物流Gメン」への改正と体制の拡充、「トラック運送業界における多様な働き方推進」の進捗状況などについて説明した。続いて、運輸労連の坂井俊文中央書記次長(産業政策部長)、全国交通運輸労働組合総連合(交通労連)の貴正和トラック部会事務局長、全日本建設交通一般労働組合(建交労)の鈴木

## 「大口・多頻度割引の継続、最大50%割引への拡充」など実る

トラック運送業界関係 補正予算の概要

- ▽物流の革新と持続的成長に向けた中長期計画を踏まえた取組等の推進  
国費：80億3,000万円 財政投融资：290億円
- ▽運輸業、海運業等における人材確保・育成等  
国費：12億7,200万円
- ▽高速道路料金の大口・多頻度割引の拡充措置の延長  
国費：77億5,700万円
- ▽自動運転の普及・促進に向けた「道路システムのDX」の推進  
国費：59億7,000万円
- ▽インフラ、交通、物流等の分野におけるGXの推進  
国費：公共事業関係費212億6,600万円  
非公共事業費2億0,200万円
- ▽生産性向上・地方創生に資する道路ネットワークの整備等  
国費：856億3,500万円
- ▽国土強靱化に資する道路ネットワークの機能強化に関する対策  
国費：公共事業関係費1,973億7,500万円  
非公共事業費15億6,900万円

令和6年度補正予算・令和7年度税制改正大綱 業界の声を反映

令和6年度補正予算が12月12日に衆議院本会議で可決、続いて同日の参議院本会議で可決、成立した。また、同日には自由民主党、公明党の両党が、令和7年度税制改正大綱を決定した。

これまで全日本トラック協会では、坂本克己会長を先頭にトラック関係施策に関する要望活動を積極的に展開してきた。それを受けて、このたびの補正予算と税制改正大綱では、トラック運送業界からの要望が色濃く反映されるものとなった。

補正予算(別掲)では、自動化・機械化・脱炭素化・物流標準化・データ連携等による物流の効率化、トラック・物流Gメンや改正物流法の着実な施行等による商慣行の見直しなど「物流の革新と持続的成長に向けた中長期計画を踏まえた取組等の推進」として80億3,000万円が措置された。また、「高速道路料金の大口・多頻度割引の拡充措置の延長」として77億5,700万円が措置され、最大割引率を40%から50%に拡充する措置が令和8年3月末まで延長される。さらに、外国人材の受入環境の整備など「運輸業、海運業等における人材確保・育成等」に12億7,200万円が措置された。

税制改正大綱では、「中小企業投資促進税制」については、「中小企業経営強化税制」とともに特別措置の適用期限が2年延長された。また、中小企業の設備投資に係る固定資産税の課税標準の特例措置について、賃上げを後押しするよう見直しを行った上で、適用期限が2年延長された。

「自動車関係諸税の見直し」については、公平・中立・簡素な課税のあり方について、中長期的な視点から、車体課税・燃料課税を含めた総合的に検討し、見直しを行うとされたほか、「車体課税の見直し」については、取得時における負担軽減等課税のあり方を見直すとともに、自動車の重量および環境性能に応じた保有時の公平・中立・簡素な税負担のあり方等について、関係者の意見を聴取しつつ検証し、令和8年度税制改正において結論を得るとした。

東海電子株式会社 無料セミナー・展示会情報

WEBセミナー 1/10 10:30-14:30 遠隔点呼 自動点呼 解説セミナー 1日でお悩み解決します!

対面セミナー 1/16 14:00-17:00 遠隔点呼 OR 自動点呼 業務前自動点呼について分かる!

WEBセミナー 1/17 13:30-14:30 飲酒運転は事故ではなく事件です!

展示会 1/22(水)~24(金) 10:00-17:00 スマート物流 EXPO SLE 物流DX/ロボット/カーボンニュートラル展

グリーン経営認証で環境にやさしい取組を!

認証取得後8トン以上のトラックで3.1%の燃費向上、車両故障件数20.9%減少。交通事故発生件数25.9%減少など(グリーン経営認証取得による効果、2022年版より) 環境改善にとどまらない効果。

対象業種	日時	会場	主催	問合せ先
トラックバス、タクシー	2月17日(月) 13:30~16:30	AP 横浜 B ルーム (4階) 神奈川県横浜市西区北幸2-6-1 ONEST 横浜西口ビル	関東運輸局	エコモ財団 グリーン経営講習会係 ☎03-5844-6276 ※ガイダンスの2番を押しください
トラックバス、タクシー	2月19日(水) 13:30~16:00	オンライン	中国運輸局	中国運輸局 交通政策部 環境・物流課 ☎082-228-3496
トラックバス、タクシー	2月26日(水) 13:30~15:30	オンライン	九州運輸局	エコモ財団 グリーン経営講習会係 ☎03-5844-6276 ※ガイダンスの2番を押しください
トラックバス、タクシー	2月中旬(予定)	オンライン	東北運輸局	東北運輸局

グリーン経営ホームページ <https://www.green-m.jp/> 「認証基準」、「取組事例」など詳細は [グリーン経営](#) で検索

「二ユース・ターミナル」(トラック協会二ユース)

第48回「貨物自動車運送事業安全性評価委員会」

2024年度事業を

審議・承認

12月13日、第48回「貨物自動車運送事業安全性評価委員会」は、平成24年度より実施...



第48回「貨物自動車運送事業安全性評価委員会」(12月13日、全ト協)

9056事業所を認定

2024年度貨物自動車運送事業安全性評価委員会

2024年度貨物自動車運送事業安全性評価委員会...



全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

認定、認定事業者の内訳は、新規認定10事業者、更新認定59事業者...



引越安心マーク

全日本トラック協会は12月13日、「引越事業者優良認定制度」...

今年度は、引越サービス名称単位で申請総数70事業者のうち69事業者を...

認定、認定事業者の内訳は、新規認定10事業者、更新認定59事業者...

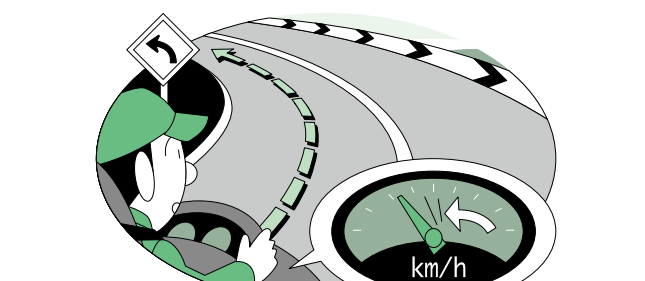
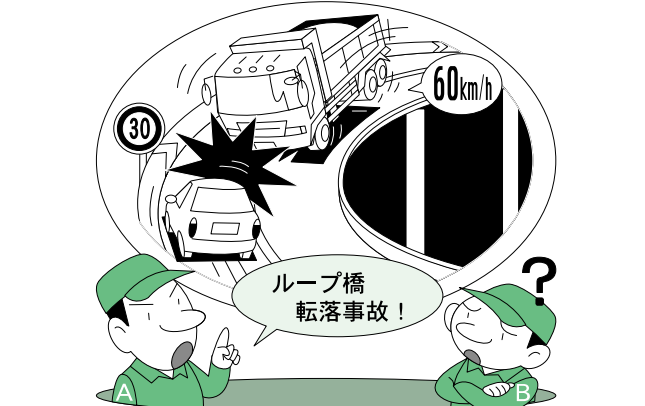
認定の有効期間は2025年1月1日から2027年12月31日まで...

繁忙期を無事故で乗り切り、良い新年を!

11月、ダンプカーと乗用車が衝突して、2台ともループ橋から転落する事故が発生しました...

カーブでの減速を徹底する

Aさん「この前に発生したダンプカーと乗用車の事故のニュースを見たかい」...



状況に応じた運転を徹底する

Aさん「確かにそうだけど、大事なものはスピードコントロールも含めて状況に応じた運転をすることだね」...



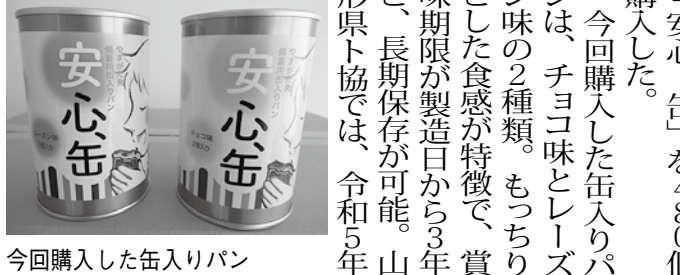
冬の備えを万全にしておく

Aさん「僕たちプロドライバーは、一般ドライバー以上に、状況に応じた運転をしないといけない」...

急、急、急。急発進など「急」のつかない運転操作を徹底しているよ...



パンの製造担当のセンター利用者らと記念撮影(12月10日、山形県トラック協会)



今回購入した缶入りパン

都道府県ト協 山形県トラック協会...

10日、防災備蓄品として山形県ハビリスセンター...

1月に約千個を購入。防災機能も備わっており、災害時には緊急支援物資...

言葉が寄せられた。飲酒運転根絶を徹底...

「広報とらつく」からのお願い 交通・運転マナーを守って!

急な車線変更、不用意なクラクション、コンビニや公共施設の駐車場等での長時間駐車...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

「生命のメッセージ」 全日本トラック協会は12月13日、東京都トラック総合会館で...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...

全性優良事業所となった。全ト協では、今後も引き続き認定事業所の一層の拡大に向け...



「プラン2025目標達成フルセミナー」削減目標達成への取り組み(12月13日、東京都トラック協会)

これから、改めて飲酒運転の根絶を呼びかけた。前半は、SOMPORI...

これから、改めて飲酒運転の根絶を呼びかけた。前半は、SOMPORI...

これから、改めて飲酒運転の根絶を呼びかけた。前半は、SOMPORI...

近畿、中国、四国、九州、沖縄の地方ブロックごとにグループマップ上に...

近畿、中国、四国、九州、沖縄の地方ブロックごとにグループマップ上に...

ニュース・ターミナル (官公庁ニュース等)

令和7年7月ごろに延期

高速道路の深夜割引見直し時期



NECCO(東日本、NEXCO中国、NEXCO西日本)の高速道路会社3社は12月25日、高速道路の深夜割引見直し時期について、運用開始時期を「令和7年7月ごろに延期する」と発表しました。

「今後のシフトについては、今後のシフトの長距離運送を拡充した上で、あらためてお知らせする」としている。

「標準的運賃Q&A」を作成し、全トコ協H Pからダウンロード可能。これは、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

「全日本トラック協会」は、12月25日、令和6年3月に告示された、運賃水準の引上げ、荷待ち・荷役などの輸送以外のサービスへの対応に関する標準的運賃、下請運送事業者に発注する際の手数料などの多様な運賃・料金を設定した新たな、標準的運賃について、運送事業者の疑問に答えるために

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。

国土交通省と経済産業省は12月6日、令和6年度「物流パートナーシップ」優良事業者表彰「受賞者」を発表した。



「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

「標準的運賃Q&A」を作成した。標準的運賃の「全般」に関する疑問を「その他実質」について、荷主との交渉に際して役立つ内容となっている。

価格転嫁推進への改善策とその実施スケジュール

今年3月に引き上げた標準的運賃の活用拡大を目指し、その周知徹底を図るほか、荷主・物流事業者への契約内容の明確化等の規制措置を導入する改正物流法の来年4月からの施行や、多量下請構造の是正に向けた実態調査を踏まえた検討を進めるなど、関係者が一体となったドライバーの賃上げの原資となる適正運賃を受受できる環境整備を進める。

法令クイズ

- 1 飲酒をしても、その後6時間以上経過していれば運転しても差し支えない。(○×)
2 自転車の酒気帯び運転には罰則が適用されない。(○×)
3 運転者が酒気を帯びていることを承知で運転を依頼した人は、自分自身が運転するわけではないので罰則を受けない。(○×)
4 酒酔い運転により免許を取り消された場合、1年後に免許試験を受けて合格すれば、免許を再取得できる。(○×)
5 酒を飲んだのが前夜であっても、翌朝の運転時まで酒の影響を受けていることがある。(○×)

降積雪期における輸送の安全確保の徹底

- 1 気象情報(大雪や暴風、暴風雪等に関する警報・注意報を含む。)や道路における降雪状況等を適時に把握し、以下の対策を講ずることにより、輸送の安全確保に万全を期すこと。
① 災害発生時の社内における連絡体制を改めて確認すること。
② 気象予報や路面の状況、降雪状況等を勘案しつつ、冬用タイヤの装着、チェーンの携行及び早期の装着を徹底すること。
③ 冬用タイヤの溝の深さがタイヤ製作者の推奨する使用限度を超えていないことを日常点検時に確認すること。
④ 点検時等において、運行経路の道路情報や、気象情報に基づき、乗務員に適切な指示を行うこと。
⑤ 積雪・凍結時における要注意箇所の把握に努めること。
⑥ 気象状況が急変し、安全運行が確保できないおそれがある場合は、運行の中止等の指示を行うとともに、バスの運休、タクシーの配車の休止、宅配便の集配荷の休止など、サービスの停止に係る情報については、ホームページ等を通じて利用者に分かりやすい情報提供すること。
⑦ 乗務員に対して、スリップの要因となる急発進、急加速、急制動、急ハンドルを行わないよう指導すること。
⑧ 大型車の車両脱輪事故防止するため、スタッドレスタイヤへの交換時等に、ホイール・ホルトの照相撮影、ワッシャー付ホイールナットの点検、清掃や各部位への潤滑剤の塗布、締付トルクの管理、タイヤ脱着作業後の増し締め等を確実に実行すること。

降積雪期を前に

国土交通省は12月16日、政府中央防災会議(会長・石破茂内閣総理大臣)による通知「降積雪期における防災態勢の強化等について」が11月29日に出されたことを受けて、全日本トラック協会に対して連日「降積雪期における輸送の安全確保の徹底について」を发出した。これを受け、12月23日に全トコ協も都道府県トラック協会を通じて、同内容について周知徹底を図っている。

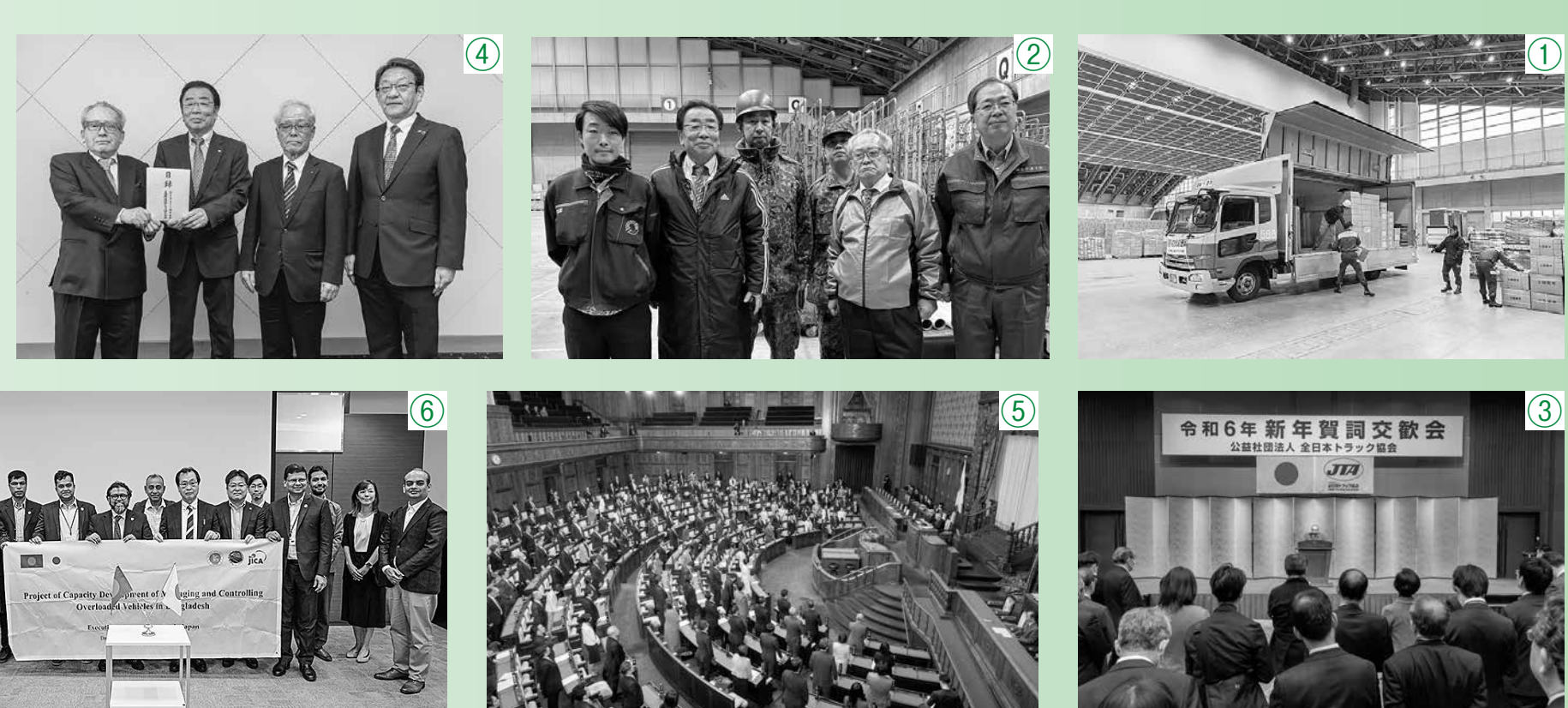
価格転嫁推進への改善策とその実施スケジュール

今年3月に引き上げた標準的運賃の活用拡大を目指し、その周知徹底を図るほか、荷主・物流事業者への契約内容の明確化等の規制措置を導入する改正物流法の来年4月からの施行や、多量下請構造の是正に向けた実態調査を踏まえた検討を進めるなど、関係者が一体となったドライバーの賃上げの原資となる適正運賃を受受できる環境整備を進める。

全日本トラック協会の主な活動

- 1月 1日
  - ▽「令和6年能登半島地震」発生を受け、「令和6年能登半島地震対策本部」を設置。国が行うプッシュ型緊急物資輸送に対応し、指定公共機関の大手運送事業者等7社と連携して緊急物資輸送体制を構築（写真①）。なお、17日からは激甚災害融資の公募を開始
  - ▽「令和6年新年賀詞交歓会」を開催（写真③）
- 2月 16日
  - ▽全日本建設交通一般労働組合中央運輸労使協議会からの要請に対応
  - ▽坂本克己会長が政府主催「物流革新・賃上げに関する意見交換会」に出席し、物流革新とドライバーの賃上げの重要性を強調
  - ▽令和5年度青年部会全国大会を開催
- 2月 29日
  - ▽タンクトラック・高圧ガス部会 堀田正二部会長、全国石油商業組合連合会に対し「タンクローリー荷卸し時における相互立会い完全実施の徹底」について要請
- 3月 6日
  - ▽タンクトラック・高圧ガス部会、石油連盟に対し「タンクローリー荷卸し時における相互立会い完全実施の徹底」について要請
  - ▽第204回理事会・第18回全国貨物自動車運送適正化事業実施機関本部会長会議を開催
  - ▽「令和6年能登半島地震」により甚大な被害を受けた石川県トラック協会（久安常信会長）に対し「災害見舞金」を贈呈（写真④）
  - ▽「多重下請構造のあり方に関する提言」を公表
- 4月 3日
  - ▽坂本克己会長をはじめとする全ト協正副会長が、自由民主克トラック輸送振興議員連盟（加藤勝信会長）総会に出席
- 4月 16日
  - ▽交通対策委員会（工藤修二委員長・当時）、「大型車の車輪脱落事故要因に関するWEB説明会」を開催
- 5月 13日
  - ▽バングラーデシュ政府職員（道路技術者）6人が来協（写真⑥）
  - ▽坂本克己会長が、全国道路利用者会議（古賀誠会長）の第76回定時総会に出席
  - ▽「物流の2024年問題」に対するトラック運送業界の取り組みを説明するため、坂本克己会長が自民党「物流調査会」（会長・今村雅弘衆議院議員・当時）に出席
  - ▽タイ運輸省職員10人が来協
- 5月 20日
  - ▽青年部会（金井健蔵部会長・当時）、専修大学北上高等学校（岩手県北上市・阿部伸校長）で整備実習用トラック寄贈式を開催
- 6月 6日
  - ▽第205回理事会を開催
  - ▽国会議員およびトラック関係省庁の代表とトラック運送事業者が情報交換をするため「政・官・業・情報交換会」を開催（写真⑦）。工藤修二交通対策委員長（当時）が重大事故発生を受け「事故防止宣言」を発令
  - ▽中国交通運輸部の職員6人が来協
  - ▽第101回通常総会（写真⑧）・第206回理事会を開催
- 6月 28日
  - ▽国交省・防衛省と「自動車運送業等および自衛隊における人材確保の取組に係る申合せ」を締結

(2024年) この1年 回顧



運輸関係行政等の主な動向

- 1月 2日
  - ▽政府「令和6年能登半島地震」の発生を受け、国土交通省を通じ、全日本トラック協会・指定公共機関（大手運送事業者等7社）に対し、プッシュ型での緊急物資輸送を指示
  - ▽斉藤鉄夫国土交通大臣（当時）、「一般貨物自動車運送事業に係る「標準的な運賃」の告示について運輸審議会（堀川義弘会長）に諮問
  - ▽国交省、トラックGメンによる「集中監視月間」（令和5年11月・12月）の取り組み結果を公表
- 2月 1日
  - ▽厚労省、テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業への特別教育を義務化
  - ▽国交省、第5回「国土交通省物流政策推進本部会合」を開催
  - ▽国交省、令和5年度第2回「事業用自動車健康起因事故対策協議会」（座長・酒井一博「公財」大原記念労働科学研究所主管研究員）を開催
  - ▽国交省、「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の告示に関する公聴会」を開催
  - ▽国交省、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」の閣議決定を発表
- 2月 7日
  - ▽政府「物流革新・賃上げに関する意見交換会」を開催
  - ▽国交省、第1回「自動物流道路に関する検討会」（委員長・羽藤英二「東京大学大学院工学系研究科教授」）を開催
- 2月 13日
  - ▽国交省、第1回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」（座長・永井正夫「東京大学大学院工学系研究科教授」）を開催
  - ▽国交省、「一般貨物自動車運送事業に係る標準的な運賃の告示案」について、標準的な運賃として定めることが適当である旨、運輸審議会が国交大臣に対して答申したと発表
- 3月 22日
  - ▽国交省、標準貨物自動車運送約款等を改正
  - ▽国交省、新たな「標準的な運賃」を告示
  - ▽国交省、令和5年度第3回「運行管理高度化ワーキンググループ」（座長・加藤博和「名古屋大学大学院環境学研究所教授」）を開催
- 3月 28日
  - ▽国交省、第2回「自動物流道路に関する検討会」を開催
  - ▽国交省、「旅客自動車運送事業運輸規則に基づく運行の管理に関する講習の実施要領及び貨物自動車運送事業輸送安全規則に基づく運行の管理に関する講習の実施要領の一部を改正する告示」を公布・施行
  - ▽政府、特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する基本方針等を変更し、特定技能制度の対象分野に「自動車運送業」を追加することを閣議決定
- 4月 1日
  - ▽大型貨物自動車および車両総重量8トン以上の中型貨物自動車（大型貨物自動車等）の高速道路における最高速度を時速80キロから90キロに引上げる改正道路交通法を施行
  - ▽「自動車運送者の労働時間等の改善のための基準の一部を改正する告示」の適用およびそれに伴い、「貨物自動車運送事業輸送安全規則の解釈及び運用について」の一部改正し施行
  - ▽高速道路の料金水準について「3つの料金水準」を継承（令和6年3月31日まで）
  - ▽法務省・警察庁・外務省・厚生労働省・国交省、「自動車運送業分野における特定技能の在留資格に係る制度の運用に関する方針」に係る運用要領を取りまとめ
  - ▽「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案」が成立（写真⑥）
- 4月 19日
  - ▽国交省、第3回「自動物流道路に関する検討会」を開催
  - ▽政府、「流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律の一部の施行期日」を定める政令」を閣議決定
  - ▽農林水産省、第2回「農林水産品・食品の物流に関する官民合同タスクフォース（TF）」（TF長・宮浦浩司農水省大臣官房総括審議官「新事業・食品産業」）を開催
- 5月 14日
  - ▽国交省、改正標準貨物自動車運送約款等を実施
  - ▽阪神高速道路（株）、西日本高速道路（株）、近畿圏の新たな高速道路料金を導入
  - ▽国交省、業務前自動点呼の先行実施要領に基づき、業務前自動点呼に係る先行実施事業を開始
  - ▽政府「経済財政運営と改革の基本方針2024」賃上げと投資がけん引する成長型経済の実現（骨太方針2024）を閣議決定
- 6月 1日
  - ▽国交省、第5回「紙加工品（衛生用品分野）物流研究会」（座長・矢野裕児「流通経済大学教授」）を開催
  - ▽国交省、第4回「自動物流道路に関する検討会」を開催
  - ▽国交省・経済産業省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商務流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第1回合同会議（座長・根本敬則「敬愛大学特任教授」）を開催
  - ▽国交省、「官民物流標準化懇談会パレット標準化推進分科会」の最終とりまとめを公表

7月6日	▽星野良三全日本トラック協会名誉会長が逝去
11日	▽第225回常任理事会・第207回理事会合同会議、政経懇談会を開催
8月21日	▽国交省に対し「道路情報の電子化に関する要望書」を提出
8月28日	▽広報活動の多様化を図るため全ト協公式SNS(LINE、X)を開設
9月11日	▽トラック運送業界からの最重要要望事項を提出するとともに、「物流の2024年問題」に対する取組を説明するため「公明党トラック議員懇話会」(当時・北側一雄会長、現在・赤羽一嘉会長)に坂本克己会長をはじめ全ト協正副会長が出席
9月13日	▽「全国道路利用者会議」理事会に坂本克己会長が出席し決議文を力強く発表
9月18日	▽「物流の2024年問題」をテーマに岸田文雄内閣総理大臣(当時)と坂本克己会長および盛山正仁文部科学大臣(当時)、山崎薫専務理事、松崎宏則専務理事が面談(写真⑨)
9月18日	▽女性部会(原玲子部会長)、令和6年度「全国研修会」を開催
9月18日	▽国交省および警察庁に対し「高さ指定道路の指定に関する要望書」を提出
9月18日	▽国交省に対し「重さ指定道路の指定に関する要望書」を提出
9月18日	▽「全国トラック協会会議」を開催
10月2日	▽第21回「トラックの森」植樹式を熊本市の雁回公園で開催(写真⑩)
10月3日	▽第29回「全国トラック運送事業者大会」を熊本市の熊本城ホールで開催(写真⑪)
10月10日	▽「全国道路利用者会議」で第74回全国大会に坂本克己会長が出席
10月26日	▽第56回「全国トラックドライバー・コンテスト」を開催(写真⑫)。28日には表彰式を開催し、4部門・宮城県代表の中根誉士さん(日本通運(株)仙台支店国内航空貨物部仙台航空事業所カスタマーサービス課)が内閣総理大臣賞を受賞(写真⑬)
11月14日	▽「適正取引委員会」(平島竜一委員長)が初会合
11月19日	▽坂本克己会長が赤澤亮正経済再生担当大臣に対し、トラック運送業界の要望事項を説明
11月19日	▽坂本克己会長が加藤勝信財務大臣に対し、トラック運送業界の要望事項を説明(写真⑭)
11月20日	▽水野功副会長が自民党団体総局運輸・交通関係団体委員会・国土交通部「予算・税制等に関する政策懇談会」でトラック運送業界の要望事項を説明
11月27日	▽ダンプロック部会(岡田安正部会長)、建設関係団体等に対し「標準的運賃」の収受に向けた支援を要請(写真⑮)
12月3日	▽ドライバーをカスタマーハラスメントから守ることおよびドライバーの社会的評価の向上に繋がる対策を講じるため「ドライバーの社会的評価の向上に係る検討委員会」(松田直樹委員長)が初会合
12月5日	▽第208回理事会を開催
12月13日	▽自民党自動車議員連盟主催「自動車政策懇談会」で水野功副会長がトラック運送業界の要望事項を説明
12月16日	▽2024年度引越事業者優良認定制度(引越安心マーク)69事業者の認定事業者を発表
12月16日	▽2024年度安全性優良事業所(Gマーク事業所)9056事業所を発表
12月24日	▽重量部会(内宮昌利部会長)、鉄骨・橋梁部会(高地高照部会長)、鉄鋼部会(三村文雄部会長)、国交省に対し「特殊車両通行制度に関する要望書」を提出

# 令和6年 トラック 年表



⑭



⑫



⑩



⑮



⑬



⑪



⑨



7月4日	▽国交省、第2回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」を開催
7月9日	▽国交省、社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会「第24回物流小委員会」(委員長:根本敏則 敬愛大学経済学部教授)を開催
7月19日	▽国交省、第5回「自動物流道路に関する検討会」を開催
7月22日	▽公取委・中企庁、第1回「企業取引研究会」(座長:神田秀樹東京大学名誉教授)を開催
7月24日	▽国交省、第13回「運輸安全マネジメント普及・啓発推進協議会」を開催
7月25日	▽政府、第5回「我が国の物流の革新に関する関係閣僚会議」(議長:林芳正内閣官房長官)を開催(写真⑥)
7月29日	▽国交省、「自動物流道路のあり方 中間とりまとめ」を公表
7月30日	▽国交省、全ト協に対し「民間団体等による貨物自動車運送の適正化に関する事業の推進について」の一部改正を通過
8月23日	▽国交省、第3回「物流革新に向けたデジタル式運行記録計の普及促進に関する検討会」を開催
8月26日	▽国交省、第1回「トラック運送業における多重下請構造検討会」(座長:野尻俊明流通経済大学名誉教授)を開催
8月26日	▽国交省・経産省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第2回合同会議を開催
8月30日	▽西日本高速道路(株)、中国自動車道・鹿野サービスエリア(SA)下り線で「出発時間指定大型車3列駐車マス」の試行運用を開始
9月17日	▽国交省、ダブル連結トラックの対象路線を拡充(5140キロメートル→6300キロメートル)
9月19日	▽公取委・中企庁、第2回「企業取引研究会」を開催
9月26日	▽国交省・経産省・農水省、交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第3回合同会議を书面開催
9月28日	▽東日本高速道路(株)、東北自動車道・佐野SA下り線で「長距離輸送におけるドライバー交替の実証実験」を実施(写真⑦)(10月4日)
10月1日	▽国交省、行政処分基準を改正し飲酒運転等による行政処分を強化
10月3日	▽国交省、第6回「自動物流道路に関する検討会」を開催
10月7日	▽公取委・中企庁、第3回「企業取引研究会」を開催
10月24日	▽公取委・中企庁、第4回「企業取引研究会」を開催
10月30日	▽国交省、第1回「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」(座長:大島弘明流通経済大学流通情報学部教授)を開催
11月1日	▽国交省、「トラックGメン」を「トラック・物流Gメン」に改組、地方運輸局等の物流担当部署職員と各都道府県トラック協会が新たに設ける「Gメン調査員」を追加して体制を拡充(写真⑧)
11月5日	▽国交省・農水省・経産省・日本物流団体連合会・日本ロジスティクスシステム協会、第4回「官民物流標準化懇談会」(座長:根本敏則敬愛大学経済学部特任教授)を開催
11月6日	▽国交省、令和6年度第1回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催
11月11日	▽第2次石破内閣が発足し、国土交通大臣に公明党・中野洋昌衆議院議員が就任
11月26日	▽国交省・経産省・農水省、「交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会第4回合同会議」を開催
11月27日	▽公取委・中企庁、第5回「企業取引研究会」を開催
11月27日	▽国交省・経産省・農水省、「交通政策審議会交通体系分科会物流部会・産業構造審議会商流通情報分科会流通小委員会・食料・農業・農村政策審議会食料産業部会物流小委員会合同会議」の取りまとめを公表
12月28日	▽国交省、第2回「トラック運送業における多重下請構造検討会」を開催
12月28日	▽公取委、物流特殊指定違反で(株)イトーキに対し警告
12月4日	▽国交省、新東名高速道路(駿河湾沼津SA・浜松SA)で自動運転トラックの公道走行実証実験を公開
12月10日	▽国交省、自動車運送分野の特定技能1号評価試験の開始を発表
12月10日	▽国交省、第2回「物流拠点の今後のあり方に関する検討会」を開催
12月17日	▽公取委・中企庁、第6回「企業取引研究会」を開催
12月19日	▽国交省、第7回「自動物流道路に関する検討会」を開催
12月24日	▽国交省、令和6年度第2回「運行管理高度化ワーキンググループ」を開催



経済産業省

取引先との持続可能な関係を築くために「パートナーシップ構築宣言」特集

「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表しましょう！

「パートナーシップ構築宣言」は、輸業・郵便業でも1689社が宣言... 取引先との関係構築を促進し、持続可能な関係を築くための重要なツールです。

1 「パートナーシップ構築宣言」とは？

取引適正化の重点5課題について宣言... 望ましい取引慣行の実現を目指す

2 宣言を行うメリット

補助金の加点等の優遇措置のほか... 宣言関連の融資制度が利用可能に

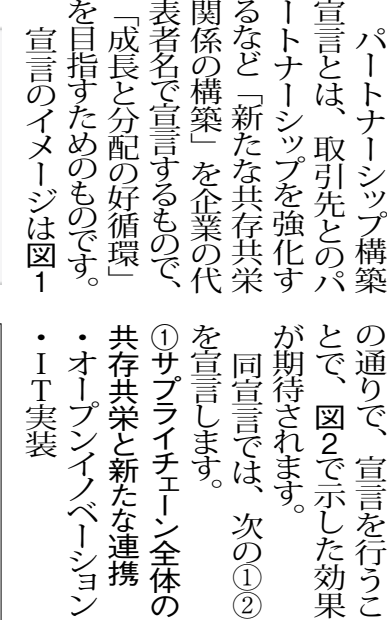


図2 宣言を行うことで期待できる効果

- ・新たなパートナーシップ 規模・系列を超えた連携
・適正な取引価格の実現
・下請代金の支払条件改善
⇒資金繰りの改善！



「パンくわてのヘビが地球にのっかってるという初夢をみたんだけど...」

法令クイズ

- × (法第65条第1項) 飲酒をして...
● × (法第65条第1項、同117条の2)
● × (法第65条第4項) 車の運転者...

住所変更手続き等が楽にオンライン更新講習の受講も可能

①住所変更手続き等のワンストップサービス... ②オンライン講習(優良運転者)の受講も可能...

トラック運送事業者のための経営のヒント

今年最後のコラムになった。今年を振り返ると、「事業を遂行する条件の骨格が大転換した年」といえる。

物流ジャーナリスト 森田 富士夫

変化を象徴するのは「荷主の定義」

1ドで「物流危機」を回避するための法的な再構築を進めた1年だった。4月26日には改正物流法が公布された。

3 宣言を登録するには？

ポータルサイト上で宣言を公表... 「新しいひな形」での宣言更新・新規宣言

1 制度の概要

免許証の種類が3タイプに... マイナンバーカードと運転免許証の連携

労務 Q&A

忘年会の帰り電車に接触、通勤災害の適用は

通勤災害についてお尋ねします。先日、労働者Aが職場の仲間内で先日忘年会の後、帰宅途中に駅のホームで電車と接触し、打撲傷を負ってしまいました。

A 少しの飲酒は許されるが、たくさんは適用外

【解説】労働者災害補償保険法(労災保険法)第7条第1項第3号によれば、通勤災害とは「労働者の通勤による負傷、疾病、障害または死亡」とされ、同法に基づき業務上災害と同様の給付が行われることとなります。

全ト協 第7回「次世代新技術対応小委員会」

令和9年のレベル4自動運転トラック輸送事業スタートに向け技術開発を推進

# 自動運転大型トラック見学・同乗試乗を実施



今回の見学会・同乗試乗に使用された、T2の自動運転トラック(第一世代車)。今年5月には新型実験車両が登場している

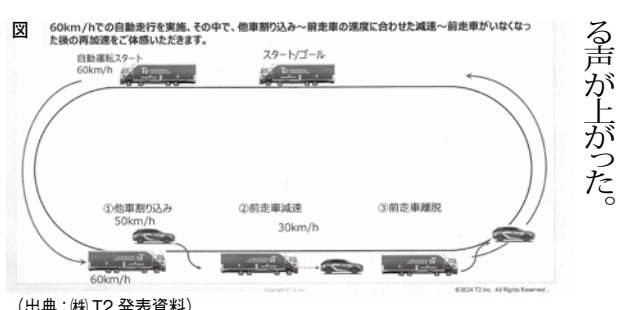
表2 自動運転レベルの概要

レベル	対応主体		対象地域
	通常時	緊急時	
0 支援・自動化なし	運転手	運転手	—
1 運転支援(縦or横)	運転手	運転手	限定領域
2 部分自動化(縦&横)	運転手	運転手	限定領域
3 条件付き自動化	システム	運転手	限定領域
4 高度自動化	システム	システム	限定領域
5 完全自動化	システム	システム	無制限

(出典:株T2発表資料)

表2は、自動運転レベルの概要を示している。レベル2自動運転では、ステアリングと加減速が自動化されるものの、ドライバーによる常時監視が必要となる。レベル3(条件付き自動化)では、限定領域において、緊急時

見学会では、同テストセンターの高速周回路を利用した同乗試乗を実施した。試乗内容は図の通りで、自動運転トラックのドライバーがハンドルから手を離れた状態で時速60km/hでの自動走行を実施。その後、自動運転トラックの速度に合わせ、自動運転を離脱した後は、再び加速



(出典:株T2発表資料)

表2は、自動運転レベルの概要を示している。レベル2自動運転では、ステアリングと加減速が自動化されるものの、ドライバーによる常時監視が必要となる。レベル3(条件付き自動化)では、限定領域において、緊急時

見学会では、同テストセンターの高速周回路を利用した同乗試乗を実施した。試乗内容は図の通りで、自動運転トラックのドライバーがハンドルから手を離れた状態で時速60km/hでの自動走行を実施。その後、自動運転トラックの速度に合わせ、自動運転を離脱した後は、再び加速

同乗試乗に参加した委員からは、自動運転トラックの安定した走行とスムーズな加減速を評価する声が上がった。

同乗試乗に参加した委員からは、自動運転トラックの安定した走行とスムーズな加減速を評価する声が上がった。

1 株T2とは? 全日本トラック協会(次世代新技術対応小委員会(山口嘉彦委員長)は11月25日、茨城県城里町にある(株)T2(森本成城代表取締役)の自動運転大型トラックの見学会・見学会を開催した。見学会では、来年7月に東京・大

表1 同社の事業スケジュール

事業スケジュール	トラック保有台数
令和6年度 トラックでの実証実験および事業開発	
7年度 レベル2自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	7月までに5台
8年度 レベル2自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	年度末までに50台
9年度 レベル4自動運転トラック輸送事業(東京・大阪間)	同150台
10年度 インターチェンジ付近の一般道における自動運転実現	同500台
11年度 事業エリア拡大(九州・四国)	同1,200台
12年度~ レベル4トラックトレーラー輸送事業	13年には2,000台規模での輸送を行う

(出典:株T2発表資料)

2 自動運転トラックとは? 安全な走行のため最新鋭システムを導入 高速道路での自動走行が可能に

## 自動運転を可能とする最新技術

① 前面上部に設置された複数台のカメラで、前方の道路上の白線や前方を走行する車両などの対象物を高精度で認識。近距離では、極めて高い精度で物体を認識することができる

② 高精度衛星測位システム(GNSS)に対応したアンテナを上部に搭載。地球の上空を周回している人工衛星からの電波を受信し、自車の現在位置をcmレベルで正確に把握することができる

③ レーザー光を使い、周辺車両や歩行者、建物、障害物などの対象物との距離や形状、位置関係を測定するLIDARセンサー。夜間でも対象物の検知が可能。現在は前方左右の2か所に設置されているが、後方左右にも設置することで自車の周囲を360度監視可能となる

④ LIDARセンサー下部にもカメラを設置。側方の車両も認識することで、後方から追越してくる車両の動きをとらえる

⑤ LIDARやカメラ、GNSSなどで取得された情報を統合し、助手席側に設けられたモニターに表示。道路の形状や周囲を走行する車両の位置を正確に推定する。同情報は車内に搭載されたシステムに送られ、運転操作の指令・判断がなされる

こちらが広報室 四季折々 2024.12.25

▼私はまだ小さかったころ。寒い朝、小学校までの通学路に「霜柱」が現われ、そこを運動靴で踏み鳴らすと、「サクサクサク」と優しい返事が返ってききました。手袋を外わすので息を吹き掛けると、外気の温度差で、白い息がパアッと広がりました。友人の「ダッシュ！」という声や、一緒に居た4人が一斉に駆け出しました。息をハアハア切らしながら小学校までの短距離競争です。▼年月を経て、学生時代の冬休みに、住み込みでアルバイトをした信州・茅科高原の老舗ホテル。そこで厳しい寒さは承知していましたが、「凍れる寒さとはこのことか」と、思い知らされました。この時に経験した信州の「霜柱」は、「サクサクザクザク」と力強く、霜の厚さが音の違いに表れたのかもしれない。豪雪で有名な新潟県高田市(現上越市)からアルパイトにいらした学生が、「僕の生まれ育った土地は、寒さ半端ないですよ」と、真冬の生活を記憶していらした。▼私と同年代で、稀代の

歌手・松山千春の名曲に「大空と大地の中で」があります。厳しい北の大地で精一杯に人を愛し、自然を愛し、生き抜く様子を、抒情豊かに歌った私の大好きな曲です。▼冒頭に季節ごとの営みが失われ、季節感が希薄になりつつあります。小学校時代の友人と一緒にダッシュした友人の1人は、真冬になると耳朶に霜柱ができていて痛そうでした。当時、万葉集と言われた「軟膏」は必需品でした。時折、昭和の時代を振り返りますが、やっぱりあの時代は何物にも代え難い「良き時代だったな」と感慨深いものがあります。▼「初霜」といえば、百人一首の中で、凡河内躬恒の「心霜の中に、折らばや折らむ。初霜のをきまとはせる。白菊の花」が思い浮かびます。真冬が到来し、一面に降りた初霜の中で白菊を探するのは難しいと、情緒と連想の中で人生において躊躇する事柄が多々あるが、意を決することが必ずある、と詠んでいます。▼年末年始は、10年に1度の「極寒」の天気予報が出ています。寒さ対策を十分に講じて、健康に新年をお迎えください!

(山崎 蕙)

広報室からのお願い

『広報とらつく』

読者アンケート実施中!!

1月15日(水)まで

経営者、管理者、従業員、ドライバーの皆様など読者ならどなたでも回答できます。

抽選で1,000名様にクオカードペイ1,000円分をプレゼント!

回答は二次元コードから!!

パスワード

5409 (12月15日から1月14日)

9655 (1月15日から2月14日)